

小学校低学年向け 消費者教育教材 すごろく「滋賀県消費生活ゲーム」 ～実践プログラムの様子～ 篠原学童保育所



教材を作成するにあたって、篠原学童保育所のご協力を得て、教材の試作品を使った実践プログラムを行いましたので、その様子をご紹介します。

平成28年12月27日(火)に篠原学童保育所(野洲市)で、「滋賀県消費生活ゲーム」の試作品を使って、みんなですごろくをしました。

このすごろくは、山か海のどちらかに遊びに行くという設定で、遊びに持っていきたい物を買物していくゲームです。必要なお金もゲームの中で貯めていきます。「買い物カード」のマスに止まったら「買い物カード」を引き、買物をするルールですが、カードにどんな商品が書かれているかは、引いてみないとわかりません。

まずは、1人ひとりが「山か海のどちらに行きたいか」「何をかうか」を考えてから、4人1組のグループに分かれてゲームスタートです。お金をゲットしたり、商品を買ったり、時にはお金や商品を没収されることも…。どのグループも大いに盛り上がっていました。

すごろくゲームの後は、自分が計画した物がどのぐらい買えたかをチェックして、最後に講師からお金の使い方について大事なことは何かという“まとめ”をしていただきました。

～篠原学童保育所でのすごろくゲームの様子～



▲「滋賀県消費生活ゲーム」の試作品です。商品リストを見て、自分がゲームの中で何をかうか1人1人が決めました。



◀ 小学校1年生～3年生の混合グループでゲームスタート!!

▶ お金が貯まったり思っていた商品が出てこなかったり一喜一憂しながら盛り上がっています。



計画していた商品が出るまで買物をしない人、お金がたくさん貯まったので予定外の物を買う人…みんなそれぞれ、行動は違っていました。



◀ 最後に、自分が買った物を確認しながら金融広報アドバイザー 丸山高信 講師から“まとめ”をしていただきました。

まとめ

- ★ お金は働いてこそ手に入れることができる。
- ★ 欲しいと思った時にお金がなければ買うことはできない
- ★ お金を貯めておくことで、必要な時に必要な物を買うことができる。

